学習内容報告書 フォーマット

| | |
|---|---|
| 学校名 | 宿毛市立咸陽小学校 |
| 授業者 | 田村　広美 |

1.　単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

ぼくらの海を　～知りたい　伝えたい　～

1-2.　学年

４年

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4.　単元の概要

４年生では、「海を知る」をテーマに単元を構成している。本校の校区周辺には古くからある「藻津漁港」、平成になって完成した「宿毛新港」、地域の漁業の中心である「片島漁港」、平成になり地域の漁港の水揚げを集約するために出来た「すくも湾漁港」などがある。それぞれの港の特徴や役割を調べる活動を通し比較・整理していくことで、宿毛湾の恵みを中心に人々が港を利用し生活の糧としてきたことを子ども達と共に学習した。また、社会科との関連も図り、防災や輸送についても関連して学習した。宿毛湾は湾の入り口が東西１０キロにもなる地形で、その沖を黒潮が流れ水温が冬になっても１５℃以下には下がらないという特殊な湾である。その宿毛湾全体を見るため近くの松尾峠に登山し全体像を確認することで地形や港、養殖業の全体像を理解することができた。単元の最後には、新聞やポスターとして表現し地域の人や他の学年に紹介した。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

探究的な見方・考え方を働かせ、宿毛湾に点在する漁港やそこにある船、水揚げされる魚などを調べる活動を通して、港の役割の重要生や水産業の価値に気付かせるとともに、歴史的遺産であるお遍路と関係づけ、情報を集めたり比較したりして考える力を育てるとともに、故郷（ここ）の海の素晴らしさに気付かせる。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

【知識・技能】私たちの生活は海と関わり合い、水産資源を上手に利用していることを理解する。

【思考・判断・表現】◆教師の支援や、地域探検を通して、見たこと聞いたこと、調べたことなど様々な情報を収集している。

◆問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見つけている。

1-7.　単元の展開（全７０時間）

| 時数 | 学習活動・主な内容 | 教師の指導 / 主な評価<br>外部連携 / 使用教材等 |
|---|---|---|
| 2 | ○学校の南にある、石垣が付かれた大きな池の写真から想像する。<br>○その大きな池が旧、樺地区の港であったことを知り宿毛市の他の港について調べる。 | ○石垣、鎖場の後、水路などを写真でみせ想像させる。<br>○宿毛市には他にどんな港があるか想像する。 |
| 5 | **「ぼくらの海を**<br>**知りたい　伝えたい」**<br>○宿毛湾で捕れる魚やそれぞれの港の役割を調べる方法を話し合う。<br>○1 学期の単元の進め方を決める。 | ○課題設定を行う。<br>○魚の話から港に目を向けさせる。 |
| 23 | ○ゲストティーチャーに話を聞く。<br>○聞いたことをまとめ、別の港について調べる方法を話し合う。<br>○すくも湾漁港に行って、競りの様子を見学したり、捕れる魚を調べたりする。<br>○見学したことをまとめる。 | ○市役所から職員を招聘し、宿毛新港について整備の目的や役割、工事をしたときの様子について情報収集する。<br>○すくも湾漁港を見学し、競りやブリの加工の様子から人々の働く様子やインタビューを通して思いや願いを知らせる。また、漁協の人の話からこの海の価値について実感させる。 |
| 10 | ○調べた 2 つの港を比較し、それぞれの役割や共通している人々の思いを考える。<br>○これまでの体験を振り返り、収集した情報をもとに、港の役割や捕れる魚について分かりやすく整理する。<br>○整理したことをもとに、誰にどのような方法で伝えるか話し合う。 | ○ベン図、フィッシュボーンを用い、視覚的に学びを整理し港を比較させる。<br>○情報を分析しこれまでの取り組みをまとめさせ 2 学期に繋げる。 |
| 10 | ○1 学期の学習を振り返り、2 学期の単元の進め方を決める。<br>○松尾峠について調べる。<br>○松尾峠登山を行い、頂上から宿毛湾の全体像を知る。 | ○1 学期の取り組みを想起させ、今後の探究活動について考えさせる。<br>○まず登山を行い、情報発信の方法を持ちかけ、発信方法へとつなげる。 |

| | | |
|---|---|---|
| 20 | ○これまでの取り組みをもとに宿毛湾の魅力をまとめる。<br>○どのような方法で情報発信するのか考える。<br>　　新聞・ポスター等<br>○地域の人に宿毛湾のよさを知ってもらおう。<br>（参観日にポスターセッション等で）<br>○３年生に今年の取り組みを伝えよう。 | ○総合的な学習の時間発表会を通して、宿毛湾の魅力についてこれまでの取り組みを地域の人達に伝えるようにする。<br>○来年度の総合のイメージを持たせる。 |

2.　学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1.　単元における位置づけ

単元　70　時間中の　32　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2.　本時の目標

体験を通して学んだことを思考ツールを使って整理し、今後の活動の仕方を決める。

2-3.　本時の展開

| 主な学習活動 / 反応 | 教師の指導・支援 / 評価の視点（方法） |
|---|---|
| 1　すくも湾漁港へ行った体験を振り返る。 | ○見学した時の写真を見せ想起させる。 |
| 2　フィッシュボーンを使ってまとめる。<br>・ぶりの加工工場があったよ<br>・入札をしていたよ。<br>・氷の工場があったよ。<br>・発砲スチロール倉庫があったよ。<br>・冷凍施設が完備されていたよ。<br>・たくさんの人が働いていたよ。 | ○個人用と全体用のフィッシュボーンを用意し思考を可視化する。 |
| 3　各施設で工夫していたところについて考える。<br>・鮮度を保つために冷凍施設があるんだね。<br>・都会に人のためにぶりは切って真空パックで輸送していたよ。<br>・入札することで高い値段が付き漁業者に利益がでるようにしていたね。<br>・それぞれが一か所に集まることで、効率よく消費者に届けるようになっていたね。<br>・水も三種類あったり、ネットを張ることで鳥の被害を防いだり衛生面も考えていたよ。 | ○フィッシュボーンと写真を組み合わせながら工夫について考える。<br><br>○施設の地図も用意しておく。 |
| 4　今後の活動について話し合う。<br>・この宿毛湾の良さをみんなに伝えたいな。 | ○宿毛湾の良さを知らせる視点から話合わせる。 |
| 5　振り返り | |

3.　今回の活動の自己評価

　咸陽小学校の南に古い樺地域の漁港がある。ここはため池のようで誰も港があったとは想像できない。その港は新港が出来たためにつぶされたものである。４年生の学習はそこを出発点とし宿毛新港から、宿毛湾にある港を比較させていくことで、宿毛湾を中心とした産業、魚業などの地域の特色を知ることができた。また、すくも湾漁港に見学に行き実際の水揚げや加工場を見学することで、水揚げさせる魚の種類や港の役割、そこで働く人々の思いや願いを知ることにも繋がった。子供達は、宿毛湾がとても豊かな漁場であり、それは西に向け入口が 10 キロもあり独特の地形とともに、湾の沖を流れる黒潮の影響を受ける環境の要因があることを体験や見学、質問を通して学び取った。また、その宿毛湾が産業、食、気候など自分達の暮らしに欠かすことができない存在と捉え、自分達の暮らす地域に誇りを持つようになってきていると考えている。この活動は今後の５年生からの学習の基礎となる知識や体験を含んだものであったと考えている。

4.　今後の課題

◆すくも湾漁協の見学時は水揚げされた魚が少ないひであった。そのため、前日の海の状況を見て水揚げが多い日を選んでいくことも大切である。
◆港とという公共施設の役割をつかむには専門家の話が欠かすことが出来ない。教員が情報収集を行い計画的に連携していくことが大切である。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし